

塩竈市震災復興計画策定に関する  
企業・事業所意向調査

報告書（全体）

平成23年9月

塩竈市

# 目 次

序 . 調査の概要 .....	2
1. 回答事業所の属性 .....	3
問 1 業種 (複数回答) .....	3
問 2 創業年数 .....	4
問 3 資本金 .....	5
問 4 年間売上高 .....	6
問 5 震災後の売上高の見通し .....	7
問 6 震災前の従業員数 .....	8
問 7 震災前後の従業員数の変化 .....	9
問 8 取引関係 .....	10
問 9 震災後の取引関係の見通し .....	11
2. 防災への取り組み、震災後の対応について .....	14
問 10 過去 1 年間の防災訓練の実施の有無 .....	14
問 11 防災訓練は役に立ったか .....	15
問 12 問 11 の回答理由 .....	16
問 13 a) 震災時の対応でうまくいった点 .....	17
問 13 b) 課題となった点 .....	19
3. 被害状況について .....	22
問 14 被害状況 .....	22
問 15 被害金額 .....	23
問 16 震災による事業活動への影響 (複数回答) .....	24
4. 今後の経営について .....	25
問 17 事業再開の見通し .....	25
問 18 今後の基本的な経営方針 .....	26
問 19 事業所の立地について .....	27
問 20 問 19 で回答した事業所の立地理由 .....	28
問 21 事業再開と将来の発展のために必要な支援策 .....	31
5. 今後の市の復興に向けた取り組みについて .....	35
問 22 災害に強いまちにするために必要な防災対策 .....	35
6. 震災復興に関する意見・要望 .....	36
自由意見 a) 復興の障害、現在困っていること .....	36
自由意見 b) 復興のためのアイデア .....	40
7. 資料 .....	44
アンケート調査票 .....	45



## 序．調査の概要

### 1) 調査の主旨

塩竈市内の事業所を対象として、被災状況、従業員の状況、事業再開の見通し、今後の経営に対する意向・要望、塩竈市の復興まちづくりに対する意向・提案等を把握し、復興計画の策定に反映するためアンケート調査を実施した。

### 2) 調査の方法

長期総合計画において意向調査を行った事業所314社に対して、郵送によりアンケート調査票を配布・回収した。

### 3) 調査実施時期

- ・アンケート調査票の郵送：平成23年7月16日
- ・アンケート調査票の回収：平成23年7月26日

### 4) 配布数・回収数・回収率

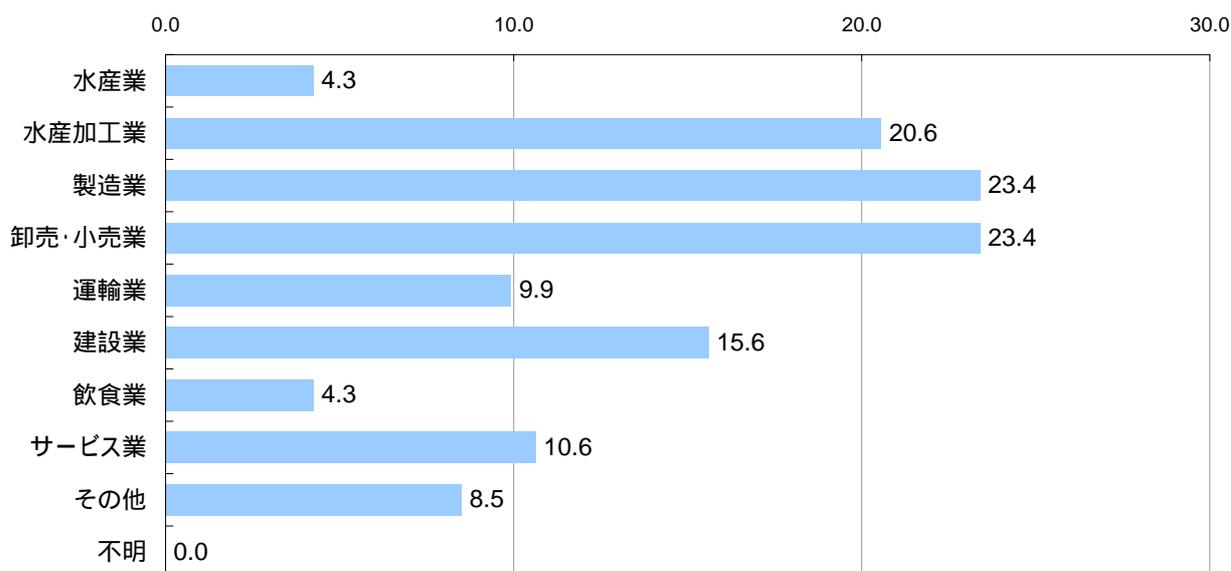
- ・配布数：314票
- ・回収数：141票
- ・回収率：44.9%

## 1. 回答事業所の属性

### 問1 業種（複数回答）

【問1】貴社の業種を教えてください。（印はいくつでも）

- |        |         |       |          |
|--------|---------|-------|----------|
| 1 水産業  | 2 水産加工業 | 3 製造業 | 4 卸売・小売業 |
| 5 運輸業  | 6 建設業   | 7 飲食業 | 8 サービス業  |
| 9 その他（ |         |       | ）        |



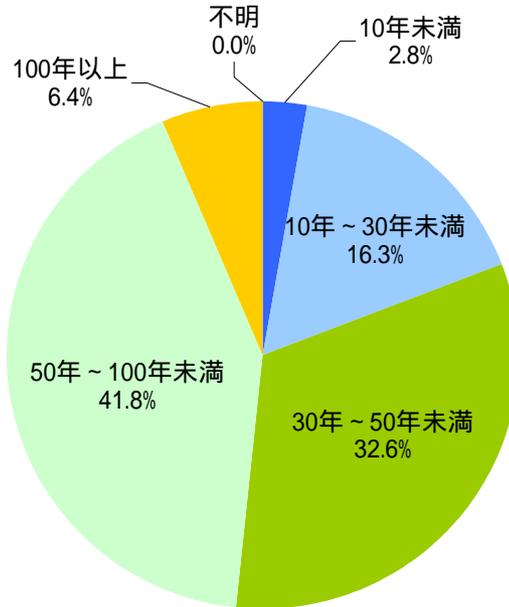
回答を頂いた事業所で最も多かった業種は、製造業と卸売・小売業で各々約 23% を占め、次いで水産加工業の約 21% となっている。（業種は複数回答）

No.	カテゴリ名	実数	構成比(%)
1	水産業	6	4.3
2	水産加工業	29	20.6
3	製造業	33	23.4
4	卸売・小売業	33	23.4
5	運輸業	14	9.9
6	建設業	22	15.6
7	飲食業	6	4.3
8	サービス業	15	10.6
9	その他	12	8.5
	不明	0	0.0
	全体	170	100.0

## 問2 創業年数

【問2】貴社の創業年数を教えてください。（印は1つだけ）

- |              |             |             |
|--------------|-------------|-------------|
| 1 10年未満      | 2 10年～30年未満 | 3 30年～50年未満 |
| 4 50年～100年未満 | 5 100年以上    |             |



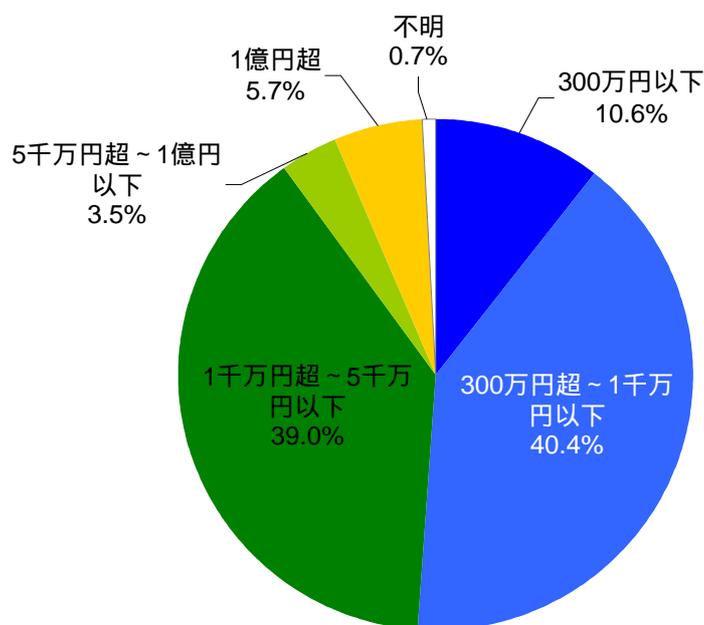
回答のあった事業所の創業年数は、「50年～100年未満」が最も多く約42%を占め、次いで「30年～50年未満」が約33%、「100年以上」の事業所も約6%立地しているなど、長期にわたって経営が続けられている事業所が多い。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	10年未満	4	2.8
2	10年～30年未満	23	16.3
3	30年～50年未満	46	32.6
4	50年～100年未満	59	41.8
5	100年以上	9	6.4
	不明	0	0.0
	全体	141	100.0

### 問3 資本金

【問3】貴社の資本金を教えてください。（印は1つだけ）

- |   |              |   |               |
|---|--------------|---|---------------|
| 1 | 300万円以下      | 2 | 300万円超～1千万円以下 |
| 3 | 1千万円超～5千万円以下 | 4 | 5千万円超～1億円以下   |
| 5 | 1億円超         |   |               |



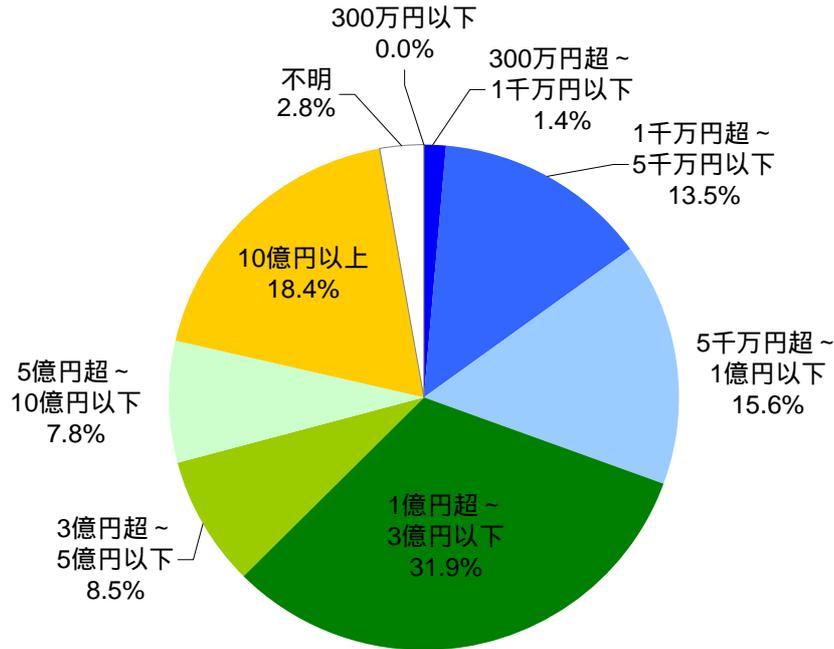
回答事業所の資本金は、「1千万円超～5千万円以下」と「300万円超～1千万円以下」の事業所が各々約40%で、これらの事業所で全体の約8割を占めている。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	300万円以下	15	10.6
2	300万円超～1千万円以下	57	40.4
3	1千万円超～5千万円以下	55	39.0
4	5千万円超～1億円以下	5	3.5
5	1億円超	8	5.7
	不明	1	0.7
	全体	141	100.0

問 4 年間売上高

【問 4】被災前年度(H21 年度)の年間売上高を教えてください。( 印は1つだけ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 300万円以下      | 2 300万円超～1千万円以下 |
| 3 1千万円超～5千万円以下 | 4 5千万円超～1億円以下   |
| 5 1億円超～3億円以下   | 6 3億円超～5億円以下    |
| 7 5億円超～10億円以下  | 8 10億円以上        |



被災前年度の平成 21 年度の年間売上高は、「1 億円超～3 億円以下」の事業所が最も多く約 32%を占め、次いで「10 億円以上」が約 18%と続いている。

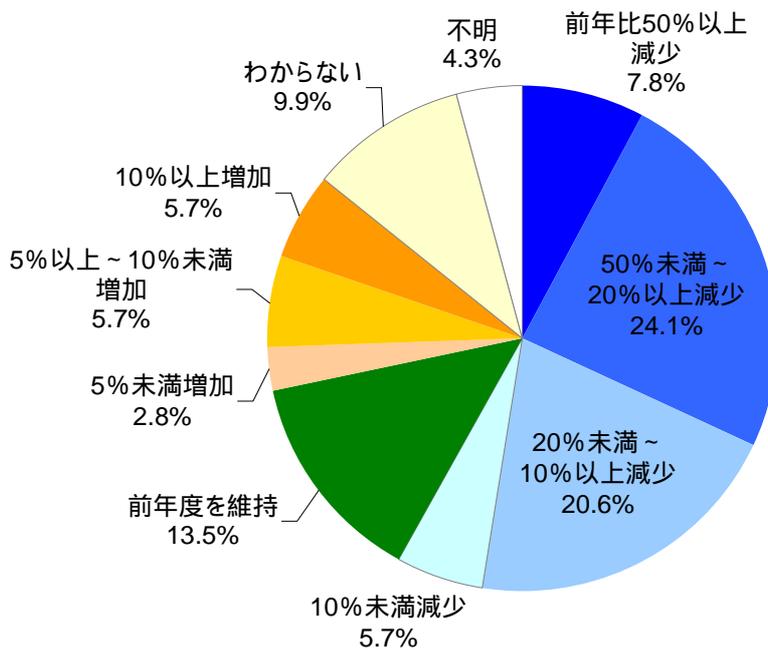
上記の事業所以外の年間売上高は、比較的分散した現状となっている。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	300万円以下	0	0.0
2	300万円超～1千万円以下	2	1.4
3	1千万円超～5千万円以下	19	13.5
4	5千万円超～1億円以下	22	15.6
5	1億円超～3億円以下	45	31.9
6	3億円超～5億円以下	12	8.5
7	5億円超～10億円以下	11	7.8
8	10億円以上	26	18.4
	不明	4	2.8
	全体	141	100.0

問5 震災後の売上高の見通し

【問5】震災前に比べ震災後の売上高の見通しはいかがですか。（印は1つだけ）

- 1 前年比50%以上減少の見込み    2 50%未満～20%以上減少の見込み  
 3 20%未満～10%以上減少の見込み    4 10%未満の減少の見込み  
 5 何とか前年程度を維持できそう  
 6 5%未満増加の見込み    7 5%以上～10%未満増加の見込み  
 8 10%以上増加の見込み  
 9 わからない



震災後の売上高の見通しについては、回答事業所全体のうち、合わせて約60%の事業所が対前年比で減少するとの厳しい見通しを示している。

「20%未満～10%以上減少」とする事業所が約21%、「50%未満～20%以上減少」とする事業所が約24%、「前年比50%以上減少の見通し」とする事業所も約8%ある。

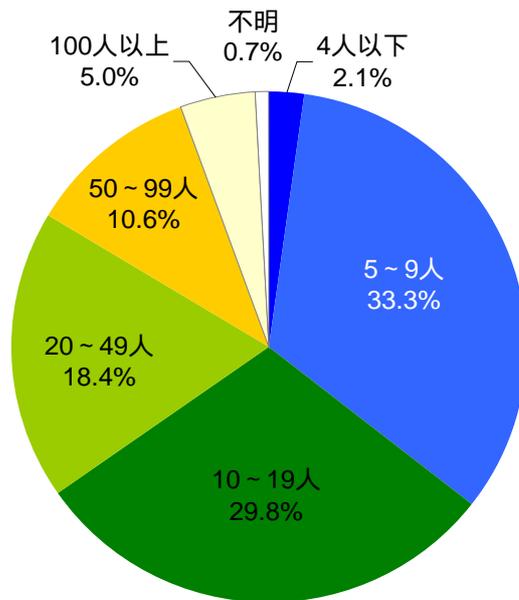
こうした厳しい状況の中、合わせて約14%の事業所では、増加する見通しを挙げている。また、「何とか前年度を維持できそう」とする事業所も約14%ある。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	前年比50%以上減少	11	7.8
2	50%未満～20%以上減少	34	24.1
3	20%未満～10%以上減少	29	20.6
4	10%未満減少	8	5.7
5	前年度を維持	19	13.5
6	5%未満増加	4	2.8
7	5%以上～10%未満増加	8	5.7
8	10%以上増加	8	5.7
9	わからない	14	9.9
	不明	6	4.3
	全体	141	100.0

問6 震災前の従業員数

【問6】震災前の従業員数は経営者、パート・アルバイトを含めて何人ですか。  
( 印は1つだけ )

- |   |        |   |        |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 4人以下   | 2 | 5~9人   | 3 | 10~19人 | 4 | 20~49人 |
| 5 | 50~99人 | 6 | 100人以上 |   |        |   |        |



回答事業所における震災前の従業員数は、「5~9人」が最も多く約33%、次いで「10~19人」が約30%、「20~49人」が約18%と、比較的中小規模の事業所が多くなっている。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	4人以下	3	2.1
2	5~9人	47	33.3
3	10~19人	42	29.8
4	20~49人	26	18.4
5	50~99人	15	10.6
6	100人以上	7	5.0
	不明	1	0.7
	全体	141	100.0

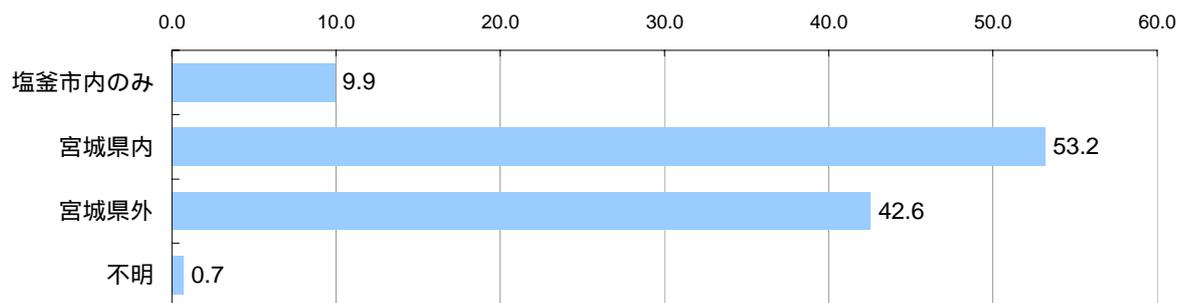


## 問 8 取引関係

【問 8】貴社の取引関係についてお尋ねします。（印は 1 つだけ）

（ ）内はご記入ください。

- |   |            |   |
|---|------------|---|
| 1 | 塩竈市内だけ     |   |
| 2 | 宮城県内（主な都市は | ） |
| 3 | 宮城県外（主な都市は | ） |



（注）上記には、複数回答をした事業所も含まれています。

回答事業所の取引先は、「塩釜市内のみ」の事業所は約 10%と少なく、「宮城県内」が約 53%、「宮城県外」が約 43%となっている。

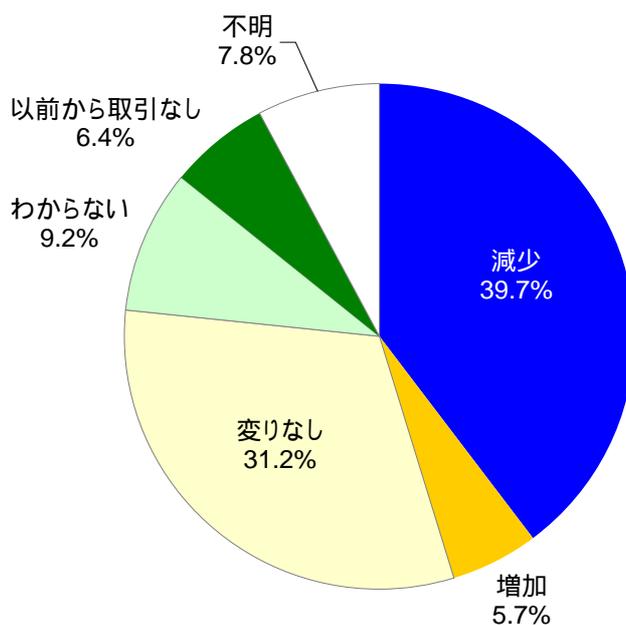
No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	塩釜市内のみ	14	9.9
2	宮城県内	75	53.2
3	宮城県外	60	42.6
	不明	1	0.7
	全体	150	100.0

問9 震災後の取引関係の見通し

【問9】震災後、取引関係の見通しはどのようになるとお考えですか。  
下記の項目ごとに1つだけ 印をつけてください。

塩竈市内企業との取引は

- |         |             |          |
|---------|-------------|----------|
| 1 減少しそう | 2 増加しそう     | 3 変わりはない |
| 4 わからない | 5 以前から取引がない |          |

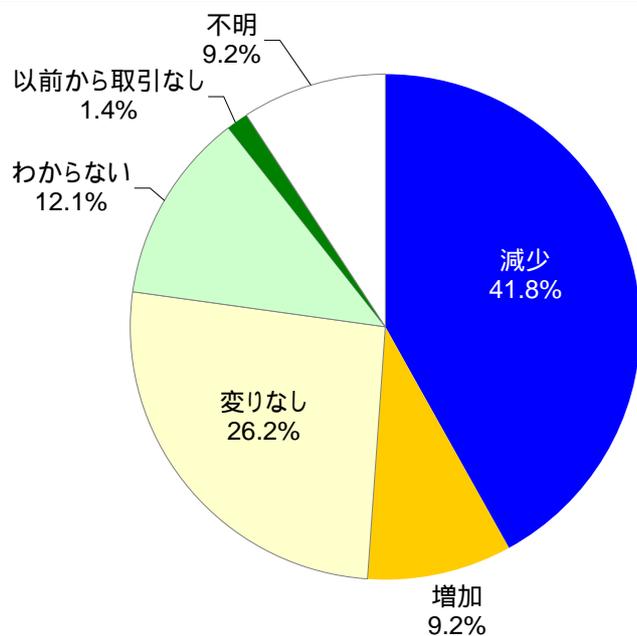


震災後の塩竈市内企業との取引については、「変わりはない」とする事業所が約 31% となっているものの、約 40%の事業所が「減少しそう」と厳しい見通しを示している。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	減少	56	39.7
2	増加	8	5.7
3	変りなし	44	31.2
4	わからない	13	9.2
5	以前から取引なし	9	6.4
	不明	11	7.8
	全体	141	100.0

塩竈市を除く宮城県内の企業との取引は

- |         |             |          |
|---------|-------------|----------|
| 1 減少しそう | 2 増加しそう     | 3 変わりはない |
| 4 わからない | 5 以前から取引がない |          |

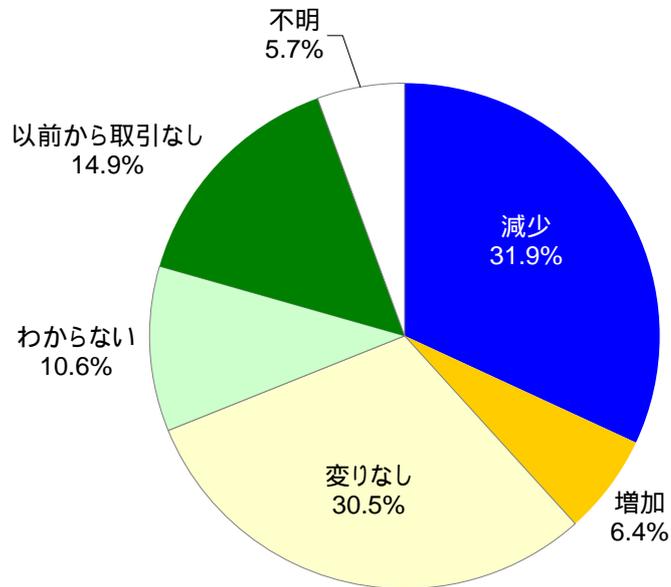


震災後の宮城県内の取引の見通しについては、「変わりはない」とする約 26%の回答事業所を、「減少しそう」とする事業所が約 42%と上回っており、厳しい見通しを示している。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	減少	59	41.8
2	増加	13	9.2
3	変りなし	37	26.2
4	わからない	17	12.1
5	以前から取引なし	2	1.4
	不明	13	9.2
	全体	141	100.0

宮城県外の企業との取引は

- |         |             |          |
|---------|-------------|----------|
| 1 減少しそう | 2 増加しそう     | 3 変わりはない |
| 4 わからない | 5 以前から取引がない |          |



震災後の宮城県外の取引の見通しについては、「減少しそう」とする事業所が約 32%と、「変わりはない」とする事業所の約 31%をわずかに上回っている。

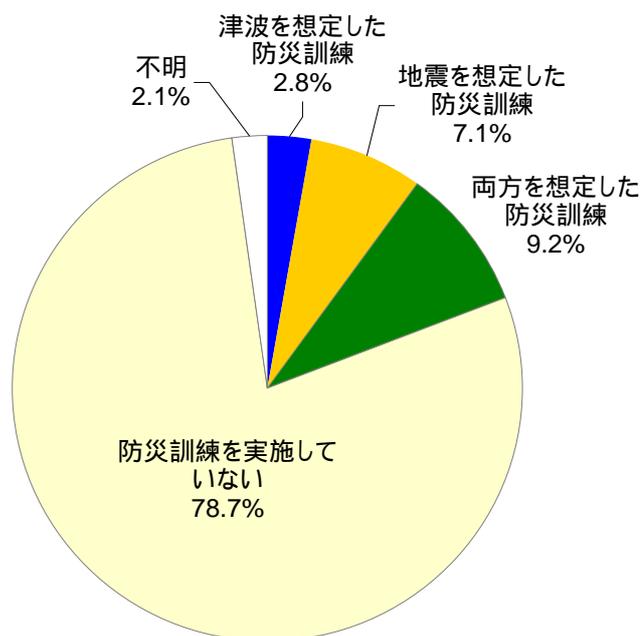
No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	減少	45	31.9
2	増加	9	6.4
3	変りなし	43	30.5
4	わからない	15	10.6
5	以前から取引なし	21	14.9
	不明	8	5.7
	全体	141	100.0

## 2. 防災への取り組み、震災後の対応について

問 10 過去 1 年間の防災訓練の実施の有無

【問 10】直近の 1 年間に津波、地震を想定した防災訓練を実施しましたか。

- 1 津波を想定した防災訓練を実施した
- 2 地震を想定した防災訓練を実施した
- 3 津波、地震の両方を想定した防災訓練を実施した
- 4 津波、地震を想定した防災訓練は実施していない



過去 1 年間に、何らかの防災訓練を実施した事業所は 20%弱にとどまっており、「津波、地震を想定した防災訓練は実施していない」とする事業所が約 79%にのぼっている。

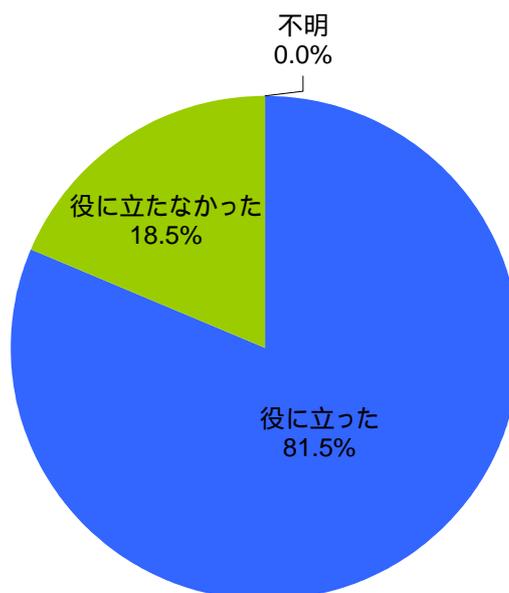
No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	津波を想定した防災訓練	4	2.8
2	地震を想定した防災訓練	10	7.1
3	両方を想定した防災訓練	13	9.2
4	防災訓練を実施していない	111	78.7
	不明	3	2.1
	全体	141	100.0

## 問 11 防災訓練は役に立ったか

【問 11】問 10 で「1 津波を想定した防災訓練を実施した」、「2 地震を想定した防災訓練を実施した」、「3 津波、地震の両方を想定した防災訓練を実施した」と回答された事業所にお尋ねします。

今回の震災時の対応において、防災訓練は役に立ちましたか。

- 1 役に立った
- 2 役に立たなかった



何らかの防災訓練を実施した事業所では、約 82%と大部分の事業所が「役に立った」としている。「役に立たなかった」とする事業所は約 19%となっているが、防災訓練の効果が大きいことが分かる結果となっている。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	役に立った	22	81.5
2	役に立たなかった	5	18.5
	不明	0	0.0
	非該当	114	
	全体	27	100.0

問 12 問 11 の回答理由

【問 12】問 11 でそのように回答された理由をお聞かせください。

具体的にご記入ください。

問 11	内 容
役に立った	地震と同時に 10 分以内で高台に避難。
	3 月 9 日に地震が発生し、三陸では津波がありましたが、3 月 11 日の朝礼で、もし津波が発生したら避難場所は合同庁舎へ避難せよ、又地震発生と同時に煉炭倉庫より離れると社員に通達したことが生かされ全員無事であった。但し、社屋、諸設備、車両、商品は未曾有の被害を被った。
	地震発生時、迅速かつ的確な判断のもと行動でき被害も最小限にとめることが出来た。
	社内マニュアル「防災心得」を作成し長年に渡り社員教育継続を行なって来て実際、地震津波注意報が出る度にこれに沿った指示を出し、それが訓練になり、今回 30 数名の社員がマニュアルの通り行動となり全社員無事であった。
	庫内での荷物の落下防止対応に役立った。
	地震後すぐに避難出来た。
	会社構内に集合場所等を定めていたので皆集合した。
	基本的に作業を中断し、津波がひいてから復旧する形式をとっていた。
	地震警報器を設置してあるため、従業員の安全に気を配ることができた。又、帰宅させる時も海岸沿いを帰らず高台にのぼるよう指示しました。
	年に何回も防災訓練は実施されているため、従業員はあわてることなく人命第一で訓練通り、お客様を避難、誘導することが出来た。
	先のチリ地震津波の時に訓練の通り高台に避難した。電話等で確認している。
	1 . 人的被害がゼロだった。 2 . 地震後に全社員に帰宅する様又、避難所へ行く様指示した。
	迷いの無いアクションを全社員がとれたこと。
	弊社は 50 年前のチリ地震津波で被災しまして、そのときの経験を元に口伝があり、それを社員、入港者に開示してきました。それにより次の指示をだされなくとも避難行動がすみやかにとれた。
	毎月の巡察、年 4 回の警備員教育研修の中で、大規模災害に伴う連絡・対応体制を確認し、想定した模擬訓練を行なっています。
	津波地震時避難場所を設定していたので概ね実施できた。
	製造ライン設備に必要なスペアを多少なり持っていたこと。
	会社内の部署ごとに、人数の確認等をスムーズに行なうことができた。
	自家用車で逃げるとあぶないので、従業員と隣近所のお年寄りをさそいみんなで徒歩で合同庁舎に逃げました。
	支部の社員は高台に避難されて津波を受けなかった。
役に立たなかった	連絡体系、避難場所の周知を行なっていたこともあり個々人は最善の方法を取り被害を最小限に出来たが、会社としてのマニュアルにおいては想定を越えた項目があり機能していなかった。
	想定以上の地震・津波であった。
	部門が別で全従業員の連絡が遅かった事。
	地震による火事を想定したものの津波の被害は想定していなかった。
	危険物を取扱っているので常に防災意識はあるが、津波というものは普段余り予想していないため、突然の津波にとまどった感があった。

問 13 a) 震災時の対応でうまくいった点

【問 13】 貴社における今回の震災時の対応について、うまく行った点、あるいは今後の課題となった点がございましたら、具体的にお聞かせください。

具体的にご記入ください。

a) うまくいった点

b) 課題となった点

問 13 a) うまくいった点
津波情報の後、すぐにトラックなど車を高い所に移動出来た事。
常時在庫は 5000 万位確保しているので即消費者に対応出来た。
従業員の居場所を定期的に確認していたので、津波地域付近にいた従業員が誰なのか理解していた。又翌日まで従業員が会社にこれた人はきたので、そこで家族の安否確認をした。
転倒防止措置が一部機能したので、避難経路が容易に確保出来、後日後片付けも容易だった点。掲示板等で現状況や連絡先を集約して情報収集がスムーズだった点。
常日頃、避難場所の確認していた点。
全員で避難したため、全員無事であった事。
職場にこだわらず直に避難した事。
なにもない。
津波の襲来時の避難の方法 当時道路は渋滞し移動が出来なかつたらしく、当社は社屋の屋上へ従業員を避難させた。
車両を高台に移動出来た。
自社の被害がほとんどなかったので、当日より客先の検査が出来たので信頼を得たようです。
地震直後に高台に避難したため犠牲者を出さずにすんだ。
現場が主でバーナー使用が、全客の為、各戸ブレーカー下げ、高い所へ。
業態が CVS です。地震直後非常事態の商品が（乾電池、ローソク、カップ麺等）供給できた。また、組織小売業として震災後比較的メーカーからの商品供給が行なわれ地域の方々に提供できた。
1. 全社員と連絡が取れた事により、指示が出来た事。 2. 津波が来る迄に今する事を指示が出来た事。
避難が早い段階で出来たので、全員無事でした。
震災後、半月お休みし、その分の月謝を返金した事。休会、退会者等への細やかな対応がとれた事。震災後比較的すみやかに安否確認を開始でき、全員が無事であることが確認できたこと。
マリゲート塩釜の 2F・3F に避難できた浮棧橋のおかげで助かった。
出かけていた者にすぐ連絡を取り、無事の確認と、すぐ帰る事（自宅）を指示し、皆帰宅することが出来た。後日それが良かったと言われた。
今回の震災は 3 月の寒いときで大変な事もありましたが、私共水産加工をしている者は寒くて助かりました。仕事の最中の地震で原魚はそのまま、電気が通じない冷蔵庫の心配が少なく済みました。
震災直後の各人の避難行動。
従業員を近くの高い建物に避難させた。従業員の車を高い所に移動した。
避難するのが限界で何もできなかった。
震災前のたまたま従業員を早く帰っていた。
会社構内に集合場所等を定めていたので皆集合した。
地震発生後すぐに従業員のほとんどの人を帰宅させたので、津波によって家に帰れない従業員の人数が最小限ですんだ。
100m 以内に水産試験所、10m 以上の高台があり全員そこへ避難した為人身事故全くナシ。
就労者の安否確認や各現場との連絡のため事務所ドアに連絡用紙を張ったことにより、訪ねてきた就労者や仕事の状況が知ることが出来たこと。
短時間の内避難所へ避難した（会社内にいた社員全員）。
工場を閉鎖し、冷凍冷蔵設備を保護した（通水通電時まで）社屋への避難指示。

問 13 a) うまくいった点
所員各自避難し、無事であった事。
地震警報器を設置してあるため、従業員の安全に気を配ることができた。又、帰宅させる時も海岸沿いを帰らず高台にのぼるよう指示しました。
震災後の早い時間で機械、部品等を発注したため4月中旬にはそれらが当社に届けられた。
訓練通り出来た事。
朝礼にて実施している。
早急な避難対応。市との連携。
宮城県沖地震に備え、朝礼時に減災について周知しているほか津波対策のマニュアルを作成しており、地震直後マニュアル通りの作業を実施した結果、被害をゼロに押さえることができた。
1．手洗用として旧型石油湯沸しタンクを設置しておるため1週程、水の心配がなかった。 2．会社、自宅プロパンガス容器のため食事作りが出来た。 3．保存食品有り 4．神棚の燈明のローソク在庫有った
地震対策は出来たが津波対策（海面上昇分）出来ていなかった。 ガスポンベの機械側の弁は止めたがポンベ側の弁の対応が不十分。 食料3日分確保していたが1Fに置いていて津波に浸ってしまった。
備品の損傷が少なかった。
人命を尊重した非難が出来たこと。
2階に発電機等準備。すばやい判断とアクション。
迅速な避難により、人的被害が無かった事。
高台へ逃げて従業員が被害に合わずにすんだ。
約15分で避難集合場所に着いた点。
人的被害が無かったこと。
発生直後全従業員をスムーズに高台へ避難させる事が出来た。
人災がなかった事。
会社が高台にあって又、発電機や、車のガソリンが常に満タンにしていた点だと思う。
港湾付近のお取引先と日頃から危機管理について打合せをしておりましたので、発生時は迅速に対応できました。
所員教育で避難場所を地図を基に実際に現地に実施していた事。
保険の見直し。
お客様、従業員ともにケガなく、すばやく避難出来た点、冷静に戸締りやガスの元栓をとめることが出来た点。
避難。
従業員+協力会社社員、全員無事であり、直ちに設備の復旧に注力できた結果、4月12日には操業を再開することができた。
社員の避難がうまく出来た。
製造作業中のため一時全ての作業を中断し、公園に非難。大津波警報により徒歩にて高台に避難したため全従業員は無事だった。
全員を安全な場所へ避難させ、全員無事だった。
津波を想定して高台に避難した。
避難場所を確認していたので、スムーズに移動できた。人的被害はまったく無かった。
津波警報が発せられた時点で4階屋上があるので人命確保は大丈夫として、1階の商品（高級品のみ）大風呂敷使用にて2階売り場に運びました。幸いにも道路向の店舗までで、津波が上がりませんでしたので助かりました。商品の損害は最小限ですみました。
取敢えず避難する事だけは早く出来たので人災はなかった
短時間で避難。
地震が起きたら津波が来ると予想して高台に避難する事が成功。
ライフラインの早期復旧。
浸水時間が長くその為に機械類・製品すべての面に影響が大で損害も多大である。
速やかに高台に避難したこと、建物の施錠をした上で避難したこと。

問 13 b) 課題となった点

問 13 b) 課題となった点
会社内に水、食料の備蓄が必要だと思った。 従業員との連絡の手段。
卸売りが本業なので、取引先の販売価格と特設と直接小売する売り価の設定がむずかしかった。アイテム数が 2500 位扱っていますので、食生活においてすぐ食卓(テーブル)で食べられる食品をピックアップして市町に地域貢献出来るよう、マニュアルを作成します。
震災後連絡(携帯等)の手段がなく(ほぼつながらなかった)、全従業員及び家族の安否確認に日数がかかった。最終確認がとれたのは5日後でした。
避難時のルールが統一されていなかったので、居場所の確認に当初大変な労力を要した点。 連絡の仕方がルール化されていなかったため、なかなか連絡がとれない従業員がいた点。
地盤の沈下で震災後の高潮の度に海水が上がり、今後の煉炭製造に支障を来している。
車両の避難所まで津波が来たため車両 83 台を水没させたこと。
高台に事務所、倉庫をもちたい(機械工具、パソコン他事務所備品全て使用不能になった為)。
・情報の入手の手段(ラジオ、TV) ・食糧の備蓄、水の確保。 ・発電機等の設備の整備など。
津波により電気機器が全て使用不能になった。主装置等を高い位置に設置する事が必要である。
都市ガスの廃止化を。
流通が止まったので、卸屋も在庫がなく、お客さんに不便をかけた。
通信手段の確保。ライフラインが断たれた時への構え。燃料油の確保。
パソコンデータ保管。
地震直後近隣の高齢者が避難を始めてきたが、これらの方々を地域の商店としてどう避難されるか、一商店ではなく地域ぐるみで行なうシミュレーションが大事。
電気、テレビ、その他はストップになり津波の大きさの情報が分からず一時判断が出来なかった点。
津波対策がなにもない。
会社のパソコン機械等が全てダメになったのが課題となります。
震災でメール、TEL(備え付け)が不通となり不便だったことから、会社の携帯を準備することになった。
防災訓練の必要性。
地震発生後すぐに作業中止として現地を離れさせた事により、当日3件(七ヶ浜、仙台、塩釜)現場から渋滞になる前に帰社させる事ができた。
海の近くに住むことは津波も気を付けないと、という事。
この震災を踏まえたマニュアルの見直し。
社用車の回避。
震災後の連絡方法の未設定。
巨大津波の避難場所を想定すべきである点。
地震により建物まわりの地盤沈下が大きく早急に修理補強が必要。会社の所有車、従業員のすべての車が津波により被災してしまったので、今後の課題として車の被災を最小限に食い止めるための避難場所の確保。
車で避難した社員が多かった。津波に対する訓練が必要。避難場所の周知。
人命最優先。より早い避難が必要。
ライフラインの確保。

問 13 b) 課題となった点
就労者の安否確認。最後まで連絡とれなかった1名が体育館の避難所にいた。
営業で外回りしていたスタッフとの連絡がうまく取れなかった。事前に避難所の確認はしていたがどのタイミングで避難先へ避難したか、連絡確認が取れなかった(対策を講ずる予定です)。
避難場所全員への徹底。安否確認網作成(従業員)。
地震保険加入。
電話がつながらず、安否確認に時間要した(メール対応)。震災想定した連絡網、経路など話し合っておくべきだった。事務所内の防災対策の不備あり、ガラス、パソコン下など対策必要。
電話が通じず、連絡をとるのに苦労した。
全員との連絡がとれない為、会社の内容とかたづけ等がうまくいかなかった。すり身(生身)製造の為、作中だったためそのままにげて生身の物を手がつけられない状態。
スーパー等の量販店への納品再開が大変困難だった。
防災グッズを定位置に置いておくこと。
通信手段。
運転手全てに一つ一つ確認と高台避難の徹底をするよう訓練。
連絡等改善。
防波堤がなかった事による津波への対応。
ラジオ放送を大いに活用すべし。最近の情報は正確である。
屋外コンセントを防水にすべきだった。 漏電遮断器を増設すべきだった。 車の避難が出来なかった。
仙台港事務所との連絡方法。
水、灯油の備蓄。
災害時の連絡網、手段の確保。
非常用電源の確保(大型発電機・燃料)。
パソコンのバックアップ等は2階以上に保管する。
車両や工具等津波で被害にあったので高い場所への保管等。
夜間作業中の場合停電になって現場(工場内)から工場出入口までたどりつけるかどうか?
帳簿類、パソコンのデータ等持ち出すものを決めておく。 工作機械が地震・津波でずれ動いたり、倒れないように。
電源の確保。
会社地盤の嵩上げ。
食料、飲料水及びガソリンの供給。
大規模災害に伴う警備業の有り方。 ガソリンの供給、飲食の備蓄。
地盤の弱さ。
・津波災害についての対応が甘く冠水によりシステムがダウン、重要書類も水没してしまった。 ・食料備蓄がほとんどなく、親会社からの支援物資だのみとなったこと。 ・自動車と燃料の確保。
・如何に水害常襲地から転地するか、今後検討する必要がある。 ・中の島ポンプ場の水害対策を検討してもらいたい。
従業員又は経営者の家族に高齢者、身障者がいる場合の対策が必要。

問 13 b) 課題となった点
防災訓練をしていればもっと的確に誘導出来た。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所における食料・水・暖などの確保。</li> <li>・トイレが使用出来なかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話が不通となった場合の連絡手段の確立。</li> <li>・避難場所の確認。</li> </ul>
余震にて夜中 12 時にシャッター開いているとの連絡がありました。男 2 人で閉めにいきました。シャッターの改良望みます。
発電機の必要性。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害備蓄品の見直し。</li> <li>・建物の耐震。</li> <li>・津波を想定した電気系統の見直し。</li> </ul>
津波の一波は次の二波に巻き込まれないように戻るとは絶対にしないこと。



問 15 被害金額

【問 15】おおよその物的被害の状況を、わかる範囲で下記に記載してください。

(単位：千円)

項目	被害内容(本支店・倉庫等や 製品・商品等の区分)	被害のおおよその 面積・数量・個数等	おおよその 被害金額
建物			
設備			
製品			
被害金額の合計			

回答のあった 102 社について、被害金額の総額は 8,453,786 千円、1 社平均の被害金額は 82,880 千円と大きな被害となっている。

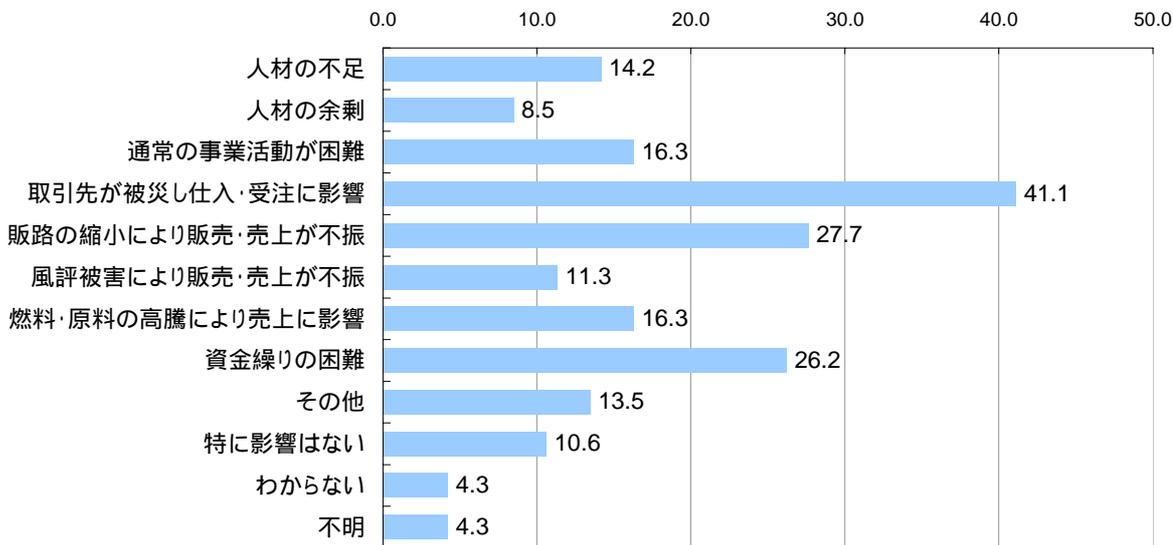
- ・ 回答事業所数：102 社
- ・ 被害金額総額：8,453,786 千円
- ・ 1 社平均の被害金額：82,880 千円

問 16 震災による事業活動への影響（複数回答）

【問 16】震災によって事業活動にどのような影響が出ていますか。

主なもの3つ以内に 印をつけてください。

- 1 人材の不足
- 2 人材の余剰
- 3 物流・配送システムが復帰していないため通常の実業活動が困難
- 4 取引先が被災し、仕入・受注に影響
- 5 販路の縮小により販売・売上が不振
- 6 風評被害により販売・売上が不振
- 7 燃料・原料の高騰により売上に影響
- 8 資金繰りの困難
- 9 その他（具体的に
- 10 特に影響はない
- 11 わからない



東日本大震災による事業活動への影響については、「取引先が被災し仕入れ・受注に影響」とする事業所が最も多く約 41%となっている。次いで、「販路の縮小により販売・売上が不振」とする事業所が約 28%で続いている。「資金繰りの困難」を挙げる事業所が約 26%、「燃料・原料の高騰により売上に影響」や「通常の実業活動が困難」を挙げる事業所も約 16%にのぼっている。

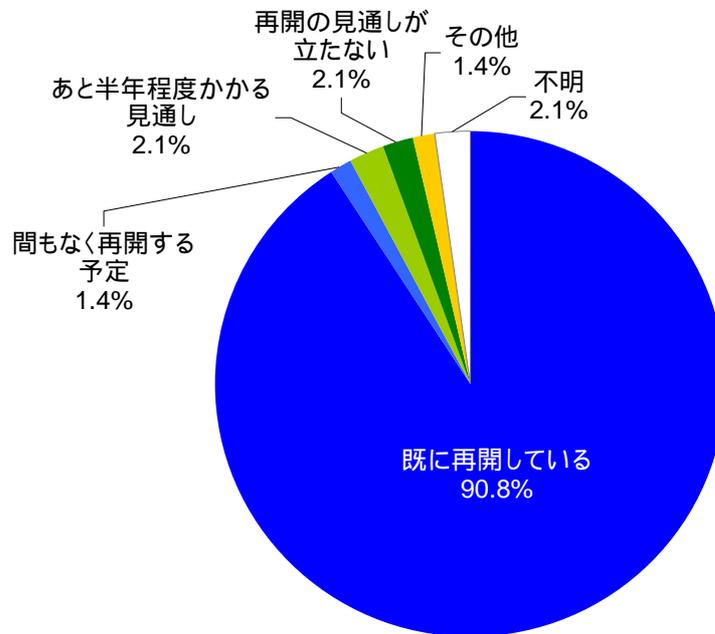
No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	人材の不足	20	14.2
2	人材の余剰	12	8.5
3	通常の実業活動が困難	23	16.3
4	取引先が被災し仕入・受注に影響	58	41.1
5	販路の縮小により販売・売上が不振	39	27.7
6	風評被害により販売・売上が不振	16	11.3
7	燃料・原料の高騰により売上に影響	23	16.3
8	資金繰りの困難	37	26.2
9	その他	19	13.5
10	特に影響はない	15	10.6
11	わからない	6	4.3
	不明	6	4.3
	全体	274	100.0

## 4. 今後の経営について

### 問 17 事業再開の見通し

【問 17】事業再開の見通しはいかがですか。（ 印は1つだけ）

- 1 既に再開している
- 2 間もなく再開する予定
- 3 あと半年程度かかる見通し
- 4 あと1年程度かかる見通し
- 5 再開の見通しが立たない
- 6 その他（具体的に )
- 7 わからない



東日本大震災後の事業再開について、回答事業所の大部分の約 91%が「既に再開している」としている。

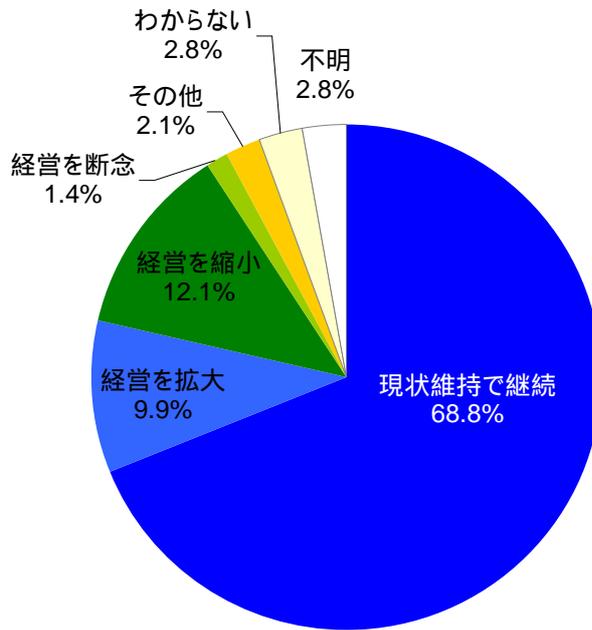
約 2%とごく少数ではあるが「再開の見通しが立たない」とする事業所もある。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	既に再開している	128	90.8
2	間もなく再開する予定	2	1.4
3	あと半年程度かかる見通し	3	2.1
4	あと1年程度かかる見通し	0	0.0
5	再開の見通しが立たない	3	2.1
6	その他	2	1.4
7	わからない	0	0.0
	不明	3	2.1
	全体	141	100.0

問 18 今後の基本的な経営方針

【問 18】今後の基本的な経営方針についてお尋ねします。（ 印は1つだけ）

- 1 現状維持で継続
- 2 経営を拡大
- 3 経営を縮小
- 4 経営を断念
- 5 その他（具体的に ）
- 6 わからない



今後の基本的な経営方針については「現状維持で継続」とする事業所が最も多く約 69%を占めている。

「経営を拡大」するとした事業所は約 10%となっており、逆に、「経営を縮小」するとした事業所は約 12%と、経営を拡大する事業所を縮小する事業所がやや上回っています。

約 1%（2件）とごく少数ながら、「経営を断念」するとした事業所もある。

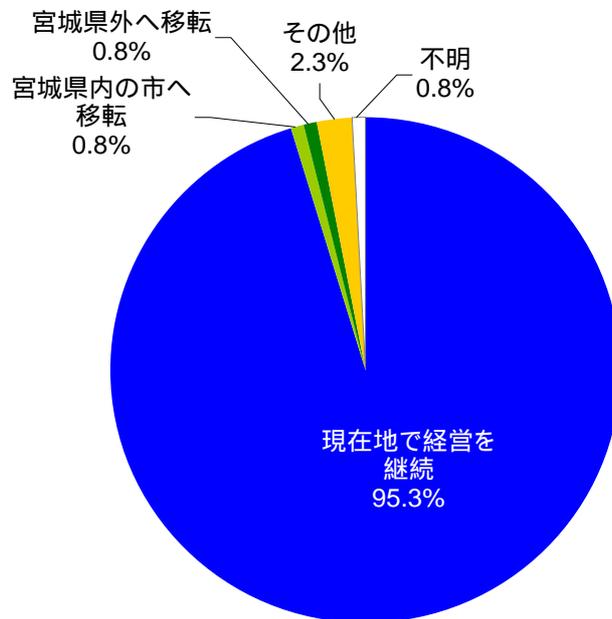
No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	現状維持で継続	97	68.8
2	経営を拡大	14	9.9
3	経営を縮小	17	12.1
4	経営を断念	2	1.4
5	その他	3	2.1
6	わからない	4	2.8
	不明	4	2.8
	全体	141	100.0

問 19 事業所の立地について

【問 19】問 18 で「1 現状維持で継続」、「2 経営を拡大」、「3 経営を縮小」と回答された事業所にお尋ねします。

事業所の立地についてはいかがお考えですか。（ 印は1つだけ）

- 1 現在地で経営を継続
- 2 市内の他地区へ移転するつもり
- 3 宮城県内の他市へ移転するつもり
- 4 宮城県外へ移転するつもり
- 5 その他（具体的に )
- 6 わからない



経営を継続するとした事業所について、その立地については、回答事業所のほぼ大部分の約 95% が「現在地で経営を継続」するとしている。

ごくわずか（1件ずつ）だが、市内や市外への移転を考えている事業所もある。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	現在地で経営を継続	122	95.3
2	市内の他地区へ移転	0	0.0
3	宮城県内の市へ移転	1	0.8
4	宮城県外へ移転	1	0.8
5	その他	3	2.3
6	わからない	0	0.0
	不明	1	0.8
	非該当	13	
	全体	128	100.0

問 20 問 19 で回答した事業所の立地理由

【問 20】問 19 でお答えいただいた事業所の立地について、理由をお聞かせください。

具体的にご記入ください。

問 19 の回答	内 容
現在地で継続	津波の被害をまぬがれた(両脇まで水がきたが)。
	敷地が切土で、周囲より高い為に津波の恐れ無し。
	小規模で一般加工食品の卸業の立地としては良いとする。 当地より東西南北のアクセスが非常によい。海より近からず、遠からず、山(森)もすぐ近くにあり又、地盤が固く平地より高い所にある。
	事業所は被災してない為。
	現状の従業員の側から考えた場合、あまり別の場所への移動は通勤の関係上遠く行くと思わないと思うので。
	よい場所と思う。
	移転は資金的に無理なので・・・。
	津波の心配は残るが広い土地の手当てや、設備が高価で他の場所での営業は不可能。今の場所での継続がベストだと思う。
	3.11 の被害が最小で済んだ事。
	予算のめどがたたない為。
	地震、津波での大きな被害はなく、修理改修で継続出来るため。
	昭和 47 年 3 月舟入で創業。昭和 59 年 4 月より現在地に移る。
	社屋に致命的なダメージはなく、基礎部分の軽度の補修で済みそうだから。
	地元・地域のお客様が主。
	川辺にあり海と直結しているので、この水路を大事にしたい。ヨーロッパのように花、空間、ベンチ等を設置して市民はもちろん観光客の憩いの場所に変えたい。なによりも町の中、駅の近くにある事を考えて、きれいにしていく事で立地条件に高めたい。
	職種上の必要性が高い。
	資金さえ補助があれば高台へ移りたいです。。
	自社スクールを塩竈に所有の為。設立以来ずっと在塩の為。
	地の利があるから。
	塩竈は大事な所だから。
	今現在被害がない為。
	特に問題がないため。
	現在地はさいわいにも津波が来ませんでしたので。
	津波による被害がそれほどでもなく、いまのところ業務には支障がない。
	取引先が近くにあるので色々な面で便利。
	業務内容、設備等の問題で、現状の場所が最適であること。
会社建物の一部損壊程度の罹災で業務上問題がないため。	

問 19 の回答	内 容
現在地で継続	既に復旧し、事業を再開している為。
	新浜に工場があり、被害がなかったから。
	資金的な問題。
	海辺低地。
	地盤の弱いのは埋立地の為、いかんともしがたいが、今回のことは津波の被害は少ない。
	生まれ育った所と交通・気候が良く住み易い。
	親会社、顧客が塩釜近郊のため。
	新浜地区津波被害無く、地盤沈下のみだった為、修繕し事業所継続。
	本社についてはあまり被災を受けていない。各営業所についてはわからない。
	工場建物は大丈夫だったので、そのまま現在地で営業。
	津波の被害がなかった場所であることと、長年営業している場所であること。
	自己所有地がある為。
	津波の影響がない、地盤がよいから。
	移転しないが資金繰りが困難。
	補修工事をすれば現在地での営業が出来るため。
	車両置き場は海拔 0 に近い場所であり、今後盛土嵩上げ等を行わなければならないと思う。
	他の地区より被害等がすくないようなので。
	お得意先に便利。
	本社事務所は避難場所に指定された安全な場所にあり、防災型の安全な係留施設が設備されているため。
	移転する費用なし。
	主力商品の複線化を考える。ライン増設、工場増設を考えたい。
	事業に最適な立地なため。
	土地・建物共に自社所有である事から。
	周辺地域に顧客が多数の為。
	特に問題なく経営が出来る為。
	震災による被害はなかった。
	今さら移転するにも水没被害が 1500 万、建物全壊が 1 棟と被害が大きいもので移転するにもできない。
	地元のお得意様が多いので。塩釜という立地が好きだから。
	公衆衛生の観点で、移転は許可されない。～化成工業のため。
	船舶の修理事業は地域性が強く協力会社との連携等移転が難しい。
	移転する経費が大きすぎる。
	今の場所で金銭的に。
創業の地であること。地元出身者、地元出資者に支えられ成長した企業であること。	
地盤が堅く、道路向い側は津波、地震被害がありました（地盤が全然違います。）永い間（90 年間）営業しておりますので、現在地で営業続けたいです。	

問 19 の回答	内 容
現在地で継続	中心部で解体が進み商店街として成り立っていくのが不安になって来ている。商店が並ばないと人を集める事が出来ない。集客出来る町作りをしていかなければならない（急いで）。
	震災後すぐに事務所、冷凍庫、冷蔵庫等作り直し他の店よりも早く事業を始めました。
	建物（事務所）は2階部分の被害が少なかったため同所にて事業再開。
	残った本社工場のみ稼働。
	地盤がしっかりしている。津波の上がる場所でもない為。
	他の地に移る余裕はない。
県内の他市へ移転	北浜本社は社屋、工場の修復が終わり、業務に影響がなくなった。また藤倉にある工場は津波の被害が無かったため、一部修繕して既に再開しているから。
その他	仙台市内に移転する予定。
	仙台駅に近く便利、取引金融機関に近く便利。 隣接地。

問 21 事業再開と将来の発展のために必要な支援策

【問 21】貴社の事業再開と将来の発展のために、特に必要としておられる支援策はございますか。

具体的にご記入ください

必要な支援策
円滑な金融支援。
事業伸展を考えると、現在地では将来手狭となりうるので、経営資源を見越し市内に拘らず立地を考慮したい。
バブルがはじけてからは当地を含む二市三町の小売店の衰退は東北でも一番と食品業界では話題になり、なぜという事でよく聞かれもしました。基幹産業が、水産と言うが少しの市内の流通業界が行政等から置き去りになったんじゃないでしょうか！量販店の進出に絡み酒、くすり、雑貨店、食品等々…何々屋が全て横文字（ドラック、ホームセンター等）が昔の店屋を潰し町も一変しました。弱者（お年寄り車のない人等）は買物難民になり近くの何々店屋を望んでおります。我々の将来は日を追う事に先細りしていますが、若い息子に社長になってもらい何か新しい感覚で、この時代に戦いを挑んでいます。象に針を向けるようなものですが、必ず何かが出来ると思い先に進むのみです。市中銀行の借入れの際の金利、補填等は非常に助かります。
被災した車両等設備に対しての助成金等や低金利の融資。
税金面での優遇（免除等）。雇用維持への助成を幅広く。手厚い助成等、継続する上での金融的サポート。
この度の震災で全壊になった倉庫の解体、撤去費用を塩竈市で負担していただけるので助かる。
のりを作る生産者に十分な資金的な援助をしていただいて立派な生産地として復活してもらいたい。県知事のいう水産業宮城特区は知らない。
まずは資金がないと何も出来ない！
資金手当て（低利の資金）が必要。市としても新車の購入、車両の整備等市内の工場を活用して欲しい。入札で安くさせるだけではないのではないか？
会社の建物等の損害は別としても市の発注工事での損害は実情に照らして支援してほしいです。
安定した原料魚の仕入れが出来る事。
公庫、銀行から機械工具、事務所用品を買いたいのにどこも貸してくれない。震災前は銀行は借りてくれませんでした。今は断られて困っています。
自然エネルギーへの転換（太陽光発電など）投資するための補助助成金融資など。
電気機器設備復旧にかかる費用の支援。
自社の努力のみ。
被災地の早い復旧なくして事業再開、発展はあり得ない。被害者の心が萎えないうちに。
被災して不要となった土地を買い上げてほしい。
トラック関係不足、水産業（当社の客先）はいろんな物的支援をうけているのでうらやましく思う時もあります。

必要な支援策
生産設備機械が冠水したため使用不可能の台数が多い。機械購入のための助成金が欲しい。借入金では返済が難しいと思います。
塩竈市として今一度街の商店が担う（震災時）ことができる役割を行政の主導ではなく、営業再開している方々と構築する必要。 ・高齢者に対する避難のあり方 ・非常時の商品供給のあり方 ・この街で商うことの意味を今一度考える必要。街全体のバランスのよい商店・企業のあり方。最大の支援策は行政支援ではなく、地域住民からの支援
・市民全体が市内の中で被災の大きな場所に行ってボランティアをする事が必要（例えば離島に行く）。その様な政策を早く実施し市民の協力をあおぐ。現状を市民に知ってもらう。 ・市長及び関係者は市民を動かす事が必要。協力を仰ぐ様働きかける事。 ・動く事は大事。動いて気づくことがあるはず。 お金は付いてくる。策も動いてわかる事もある。
港に隣接した建物の為、今回は津波の被害は少なかったものの防波堤が必要
補助金。
マリンゲート塩釜の復旧。岸壁、駐車場の嵩上げ。
風評被害の縮小と安定的な資金繰り。
本町海岸に公共的なものを作って欲しい。くるくる広場にホテルを。
私の所は被害も少ないのですが、仕事が前より資金の事で毎日大変です。
塩釜港やその他工業港の一日も早い復旧。雇調金などの助成金の金額の上乗せ及び対象期間の延長。
被害を受けた建物（事務所、倉庫）、地盤沈下補修の支援策が必要です。
多賀城市が震災情報が停電のため市民の方に情報が伝わらなかったと聞いております。塩竈市はあの状況にもかかわらず適切な情報提供がどんなに心強かったか知れません。 復興にはまだまだ時間がかかるとは思いますが、今後ともご尽力頂けますよう宜しくお願いいたします。震災後の市職員の皆様の不眠不休のご活躍に心から感謝しております。
被災復旧の為の補助金。
会社継続のために資金の借入れが必要だが、営業再開後の経営が軌道にのるまで返済の猶予や利息引き下げが必要である。また個人に対しての国や県、市町村からの補償はあるが、企業に対しての補償はすくないので、検討が必要である。
融資。
国の支援。
工場修復の費用、機器類の修理費用等の支援。
塩竈市は「カマボコ」の生産が日本でも高い方と聞いていますので、製品の改良や新製品作成に助成支援必要と考える塩竈に得意なもので勝負して雇用の場を広げる。
機器類（印刷機・製本機等）を新たに購入せざるお得なかった為に二重リースが発生し、支払い額が単純に倍以上となり、経営を圧迫している。更に雇用を維持継続する事で売上額に対し労務費が大きな負担となっている。上記にことから、二重リースに対する方策や支援を熟慮頂きたい。また仕事の発生には地元企業を優先的に受注業者（業者）として配慮を頂きたい。
塩釜港の活性化、背後地の整理。高速道路利用料の継続無料化。
（原料入手）ほや、かき（来年以降）

必要な支援策
解体費用など罹災証明による支援枠を増やして欲しい。水産加工業復興なしで塩釜元気にならない為、水産業等の一次産業ばかりでなく、加工、流通業への支援をお願いしたい。加工団地、地盤沈下ひどく行政での修繕補助など、協力願いたい。
行政の早い方向性を示していただきたい。
申し訳ありません。今現在が精一杯で今、特に考える事はありません。
個人に対しては支援金があるが、会社に対しての支援金がないのはどんな事ですか。会社に対して支援してもらいたいです。
資金繰りの件では銀行からの決算も遅く、前年度の決算書が目安となるためこの度の震災では全く力になっていただけませんでした。市が先頭に立って、ぜひ小企業の力になっていただきたいと強く思いました。
企業を誘致するなど塩釜の経済を活性化してほしい。
二重ローンの問題。道路の高低差の問題（地盤を県道と同じ高さにしてほしい）。
長期の無利子による資金融資をお願いしたい（市または県、国が利子補填をする）。
一つは資金計画で安い金利の借入れで資金調達。二つ、車両の早期に取り揃えてはやめに運行したいので車両の庫入。
加工団地内の地盤沈下空工場の利用活用について、塩釜市でも支援してほしい。加工団地内の活気が無い。
取引先の拡大。
売上が減少しているので資金的支援をして欲しい。
今回の震災に対しての市の対応には満足しています。しかし現状での再開を考えた時に工場のある現在地での経営を考えると不安を拭いきれない。防波堤の設置をせつに願います。 震災時に津波により多くの被害を受けると同時に市（町）民への迷惑がかかった事をふまえて5m程の防波堤を希望。 震災時の津波・・・約3m 震災後の地盤沈下・・・約1m
公的な無利子の資金援助。
施設の被害に対する助成が皆無である。他の業界と衡平なる助成を接に希望します。（強くお願いします。）
観光地としての景観創造への明確な工程（時間軸有り）
義援金・支援金。
固定資産税の減免。
資金です。事業再開するにあたって、失った工作機械の購入や設備投資の為に多額の融資と言う借金を背負いました。二重ローンの問題をあり、ゼロからの出発ではなくマイナスからの出発です。企業にも個人のような再建支援金のような制度があれば今後の助けになったかもしれない。資金の支援は無理としても工場の建物・工作機械・各工具類・事務機器・用品等書けばキリがないが、全てを失った当社としては、どんな支援でも欲しいところです。 他自治体では中古機械や工具等の支援、斡旋があると新聞・報道等でみましたが、塩竈市ではそのような支援等はないのでしょうか。
老朽化している塩釜魚市場の再整備を行ない、大型漁船が入港出来る環境を作って頂きたい。
長期的低金利融資。湾の埋め立て。北浜地区の嵩上げ。

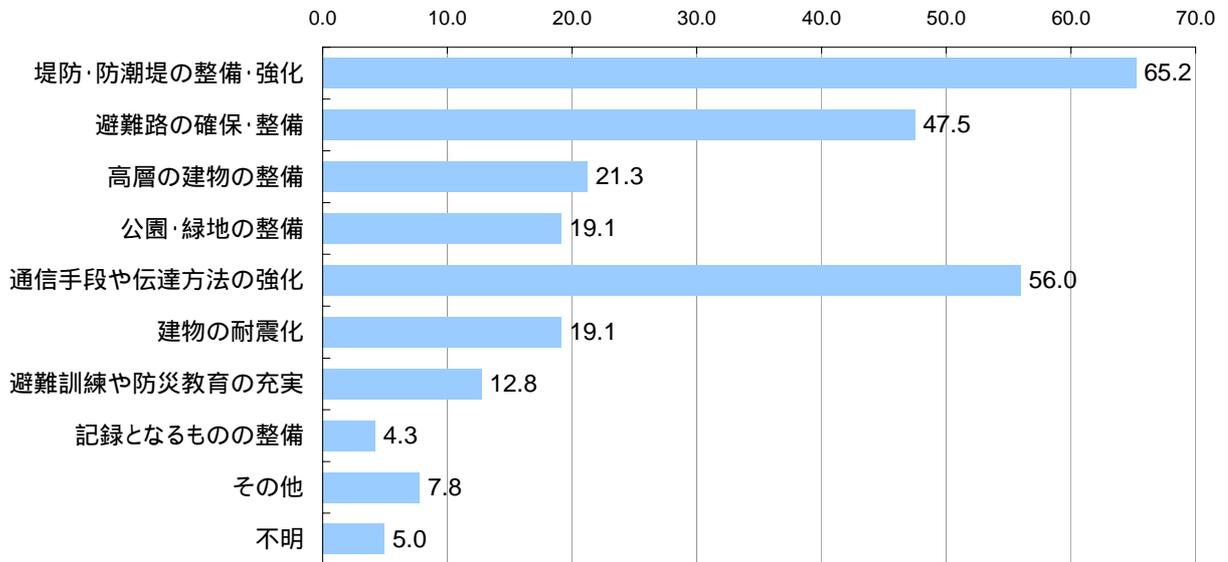
必要な支援策
市発注公共工事及び単品等は市内に営業所もしくは出張所を設けている会社をお願いしたい。(市の税収入になると思います)。
低金利での融資。
別会社にて再出発。 課題が多すぎてどう回答したら良いかわかりません。
仙台、塩竈、松島等の大規模なイベント。JR、旅行業者等との復興ツアー企画。
今後、同様の事態を考慮・懸念したばあい代表者の保証の範囲にも限界があって、融資は柔軟性をもって対応して頂きたい。また、借入の返済は今後の修理復旧を圧迫するので、ご猶予をぜひ承してほしい。・・・金融機関に対して。
1.資産の流失、損傷修理に対する補助金の助成。 2.法人税、事業税の免税減税による助成。
水害対策の充実。町全体の活性化対策。
被災した設備の買い替え資金。
自助努力のみ。
国又は県の支援金が特に必要である。
塩釜港一帯の再開発と整備。地盤沈下地域の復旧工事。
最長15年(据置3年以内)の融資して頂ければ大変心強く頑張れる事と存じます。
商品の損失が大きく震災以前に戻すには長い期間が必要だ。営業再開の為に支援がもっと必要だと思う。個人では限度がある。
新工場建設資金。
車両の流出、不良で車両台数が減少し将来の入庫の見通しが無い。いつ元の台数に成るか心配で、同業者の減少が見込まれる。
浸水被害が大きく(約2週間以上)水に浸かっていた状態が続き被害が大、将来的に不安である。
十数年前から始まった地場産業の衰退に伴い元々大きな負債を負っています。今回の震災ではまた大きな負債を強いられ。返済と利息に日々資金繰りに振り回されています。工場の稼働はお陰さまで順調なのですが、大きな借入が負担となっています。二重ローン問題が話題となっていますが、中小零細企業は三重、四重、五重の負債があるのは決して珍しくありません。健全な企業活動をするには今回の震災についての借入はもっと特殊な支援があればと思うのですが。

## 5. 今後の市の復興に向けた取り組みについて

問 22 災害に強いまちにするために必要な防災対策

【問 22】今後、塩竈市を災害に強いまちとするため、どのような防災対策が重要だとお考えですか。特にあてはまるもの3つに 印をつけてください。

- 1 浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化
- 2 非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備
- 3 津波から避難できる高さがある高層の建物の整備
- 4 防災拠点になる公園・緑地の整備
- 5 震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化
- 6 建物の耐震化
- 7 避難訓練や防災教育の充実
- 8 震災の伝承やモニュメントの設置など記録となるものの整備
- 9 その他（具体的に）



必要な防災対策は、「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」が約 65%、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」が約 56%、「非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備」が約 48%、となっており、これら 3 項目が特に必要だと考えられている。

No.	カテゴリー名	実数	構成比(%)
1	堤防・防潮堤の整備・強化	92	65.2
2	避難路の確保・整備	67	47.5
3	高層の建物の整備	30	21.3
4	公園・緑地の整備	27	19.1
5	通信手段や伝達方法の強化	79	56.0
6	建物の耐震化	27	19.1
7	避難訓練や防災教育の充実	18	12.8
8	記録となるものの整備	6	4.3
9	その他	11	7.8
	不明	7	5.0
	全体	364	100.0

## 6. 震災復興に関する意見・要望

自由意見 a) 復興の障害、現在困っていること

a) 復興の障害になっていることや、いま現在困っていることがあればご記入ください。

### a) 復興の障害になっていること、現在困っていること

被災した事務所への早期な復興支援。当社は被災もまぬがれても、得意先が被災しているため。

震災以前からの考えであるが、産業振興あつての税収であり、福祉である。産業振興が復興の大前提ではないだろうか。その為にも市立病院を廃院するか、日赤へ無償譲渡する事で、市立病院に向けている血税を産業振興に廻して頂きたい。

・震災後、食料や水など物資がまったくなかった。水は給水所にいっても、貰うことが全く出来なかった。食料は避難所には集まっていたようだが、貰うことは出来なかった。会社や自宅に避難していて(従業員含む)いる人達は1日位は何とかなるが、それ以降となるとかなり厳しい状況です。今後の対応の仕方を検討してほしい。

・電話がつながるようになり、救援系の依頼があつたが、燃料不足や高速道の許可が厳しくて動けなかった。今後の対応を考えてほしい。

地盤沈下により当社の入口の側溝部分の傾斜が変わってしまい、入口に巨大な水溜りが出来て困っています。幸い今年は雨がそれ程多くないので何とかなっていますが、今後降雨の際大変な状況になると思われます。歩道にて迅速な対応をしてください。

地盤が沈下し高潮で困っている。一企業としては費用がかかり土地(地盤)の嵩上げはできないので行政(国、県)で対応してもらいたい。

市役所になかなか行けず、市の方々との相談が出来ずにいる。時間を取って出向いても混雑していて、帰って来ました。もしよければ、地区ごとに職員の方が出向いてもらえればとても助かります。

弊社は市発注の土木工事を施工中被災し、工事金額の約50%の損害が発生しています。会社の規模からしてもこの損害額は甚大で、会社復興の妨げとなっています。市の公共事業施工中での被災でもあり、市の支援策等があれば大変助かります。

隣接町村との連携。塩竈市内のガレキ片付けは被害が他市町と比較し軽少であったが故に早期に完了できたと考えることが出来る。しかしながら七ヶ浜町、多賀城、仙台市等ガレキ片付け処理は塩竈市のそのスピードとは格段の差があることは明白である。塩竈市内の協力団体のチームプレーは一早くその実を挙げたことは勿論のことながら、作業の全体量の少ないことがそのスピードの差の主因であると思料する。近隣地域への応援も可能であるものの、組織の枠外に現実には少し疑問を持つものであり、行政間の連携・協力体制の構築を待ちたい。

地盤沈下による諸問題への対応を出来るだけ急ぎお願いしたい。

車がほしいです。

海沿いの住宅地に人が住んでおりません。津波があつたから山沼にといつても簡単にはいきません。再び住民がもどれる地盤作りが必要です。

- ・原発による食材の制限、風評被害、これからの見通しが立たない事。
- ・地盤沈下による道路と建物の段差があるので、危険。
- ・塩竈をどの様に復興したいと思っているのか、市町及び関係者の考えが何も伝わってこない事
- ・現状に復旧するだけでは、元々衰退をしていた状態にもとすだけになるのではないかと考える

a) 復興の障害になっていること、現在困っていること
国 県 市と色々な情報伝達の遅さが困っております。又、色々な支援の説明不足で困っています。
職員の皆様へ、ありがとう。海岸の護岸、道路の高さ、同下水の修理、側溝の破損を早くお願いしたい。すべての対応が早く感謝していますが、一部職員の怠慢が目立つ。
地盤沈下対策。
下水道の整備 今回の震災で浄化槽に被害があり。応急処置を行い使用可能な状態となつてはいるが、新たに設置すべきか検討を行なっている。市役所に問い合わせたところ、当社の近くまでは下水道が整備されているということだったので、早急に敷設を行なっていただきたい。
スピードのある復興政策を望みます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の不陸を早急に修復して欲しい(橋梁を含む)</li> <li>・信号の復旧を急いで欲しい</li> <li>・岸壁やプラントを早急に修復して欲しい。</li> </ul>
要望として支援をお願いします。
国・県等の支援がない遅いグランドデザインの早期発表を。
今回の震災市職員や他の公務員の方々は厚く御礼申し上げます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査に協力した事が徒労に終わる事の無いようにして欲しい。</li> <li>・市職員の多くの方が一生懸命出来る限りの対応をして頂いている事に敬意をはらうと共に感謝しています。この様な緊急時だからこそ柔軟な発想や対応が求められていると思います。平時以上に求められるサービス提供に対し、逃げ出さず、投げ出さず、放置する事無く対応して頂ければ有り難いです。</li> <li>・地元企業の復旧復興に欠かせない一つに仕事・業務の発注を「地元企業優先」と考えます。(安易な手段を取る事の無い様に配慮頂きたい。)</li> </ul>
梅の宮その他震災により建物、壁が危険な状態になっていても未だ手つかずの箇所はどのように復興していくのか。市道、県道、私道の整備
復興支援が一次産業への補正中心で加工、流通業への支援が全くない。塩釜市が港町として水産業中心に栄えてきて今後も継続させていく為に加工業者への支援なくしては厳しい状況です。震災後他地区へ量販店売り場取られ加工業者は稼働率半減しかも設備修繕などで二重債務負っており返済時期まで完全復活できない場合、今度倒産多発可能性あります。塩釜市は三陸他地区に比べて被害が少ないはず対策遅くなっていないか?改めて頑張ってもらいたいと思います。我々他県企業も事業所運営において民間の為業績如何で閉鎖可能性もあります。撤退 加工業者競争低下 水産業衰退とならぬようよろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復興支援交付金制度の創立</li> <li>・震災により被災した港湾の早期復旧</li> <li>・災害に強い新たなまちづくりの推進</li> <li>・水産業を取り巻く漁港機能の再建に関する支援</li> <li>・地元事業者の優先発生</li> <li>・観光・関連施設の早期復旧への支援</li> <li>・被災事業者の工場、店舗、事業所等の建物や設備に関する支援</li> <li>・被災地域をはじめとした商工会議所等経済団体に対する支援</li> <li>・被災地における産品、製品の購入促進等の支援</li> </ul>
国からの支援策が遅い。特に塩釜市は水産加工が発展しなければ雇用も増えないため水産加工に対する大きな支援を要望する。

a) 復興の障害になっていること、現在困っていること
100円バス、復興のためにも幅広く平等に利用してください。
県道との高さを均一にして欲しい。側道(市)はいらない。
震災後の青果小売店における販売売上の不振が市場にも影響が出て来ており、今後の見通しがつかず、又建物の整備も国からの支援がどこまでして頂けるのか不安に思っております。
ライフライン(ガスの遅れ)で再開遅れた。 現在ナシ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当工場付近における『高潮時の水溜り』と『信号機の停止』</li> <li>・石油基地から貞山大橋を渡った付近における高潮時の水溜り</li> <li>・大雨時に出来る大規模な水たまり(通行不可) (港町公園から石油基地に面した道路)</li> </ul>
<p>1, 浸水した機器にドブの臭いがあることから側溝の水洗い清掃をお願いしたい</p> <p>2, 企業から流出した肥料・飼料等の臭いがあることから全量の回収をお願いしたい。</p> <p>上記のような悪い環境を排除した後でなければ他県からのお客様の誘致は困難だと思慮します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上減少</li> <li>・福島方面での原発による売上減少</li> <li>・南三陸の売上先の減少</li> </ul>
<p>特定の業種だけ助成金が行き渡っている。</p> <p>水産業への助成と他産業への助成はあまりにも差別がありすぎる。水産業だけが塩釜の産業ではない。毎年多大な税金を納付しているがいざという時の助けが全然ない。不公平極まりない。お金を取るだけとって、助けてくれない。</p>
<p>工場とともに母と弟の住居を流失しました。</p> <p>建築制限の無い塩竈市では「どうぞ建て直して戻ってください」というが、満潮・大潮時に敷地跡まで冠水するような土地に住居・工場等を再建して事業・生活を再開させてよいものでしょうか。</p> <p>一度満潮大潮時の写真を持って市の総合相談窓口に行きました。写真を見て建設課の方は何も言えず、呼んでいただいた防災課の方は「すみませんが市・県の復興計画がまとまるまでなんとも言えません」ということでした。あの被災した北浜の土地をこの先どうしたらよいかまたどうなるのかが一番の心配事であり、復興に際しての障害です。塩竈の報道等による情報も少なく先の見えない私達にとってはまだ4ヶ月ではないのです。</p> <p>今回の大震災は誰もが知る未曾有の大災害でしたが、少しでも早く市としての復興計画をたてられるよう願う次第です。</p>
会社復興を強く希望しているが資金のめどがたたない。被害が大きすぎるため早急に行政の支援が必要。
具体的には、水産・水産加工業への放射能被害を最も心配している。
(現在破損したままになっている)当社入口前の信号機の修理、道路の整備補修、害虫駆除等。今回のような大津波警報が発令された時には弊社の前にあるJR東塩釜駅構内に避難(最も近くて、最も安全な)可能となる制度をJRと折衝願いたい。
被災した設備が全て整っておらず、大きな注文に対し、生産が出来ないため断わる対応しか出来ない。
被害者各位の復興意欲を尊重し、復興計画とやらでおさえつけないことを願います。
国に企業の為の復興資金を一日でも早く引出すよう要望する。
<p>港町1丁目にある土地を所有しておりますが、道路が地盤沈下しており満潮時に冠水し使用できない状態にある。</p> <p>企業が立ち直らない限り雇用や復興につながって行かないのでは。</p>

a) 復興の障害になっていること、現在困っていること
最近道路が異常に混んでいるので、幹線道路の拡幅が復興道路の様なものを早急に造る必要があると思う。(仙台より石巻等被災地に行くのに時間が掛かり過ぎる)
福島原発が気になります。毎日の様に問い合わせがあります。線量計など計器、検査機関の充実、今後必要になる可能性大かと思えます。
資金面で余裕がない。
津波の被害もですが、放射能の被害状況が分からず不安で一杯です。塩竈市として、放射能の飛散状況を公表してください。何れ今後長年放射能と付き合っていくのですから包み隠さず公表して下さい。その上で対策を講じる方法を全市民で考えていけばと思います。 当然、風評被害は避けて通れないのですから風評に負けない街づくり(経済も含めて)をしていきたいです。

## 自由意見 b) 復興のためのアイデア

b) 塩竈市の復興のためのアイデアをお聞かせください。

### b) 復興のためのアイデア

以前より海岸通店や、市場周辺の簡素化がめだっていたので、海岸通りの空き店舗を利用し、人が集まるような、おもしろい活気になるような店作りをするために若い人達の意見を聞き、また貸し出していければと思います。

市長が選んだ復興会議メンバーの計画素案が如何なものか、期待しております。

塩釜の平地は埋め立て地と聞いております。市民に市街地の図面で、お示し市民に自己管理して頂いてはどうでしょうか。今回の地震で新しい家(20年~30年)は大きな壊れ方はしていません。技術革新の賜物でしょう。古い家は耐震検査等を厳しくして大きな事故にならない様にしてほしい。何でもだけど“ なっちゃった ”では遅い。

- ・市内事業者が一体となれるしくみ作りから市民全員で小さな事から取り組めるPR活動。
- ・スポーツを通じて塩竈への人の出入りを盛んに出来る環境(総合スポーツセンターや、福島のJビレッジ的な)を他の市町村がやる前にやる。同時に雇用も創出していけるのでは?(施設整備係や宿泊施設運営等)
- ・魚市場近代化へ改修等漁船誘致への環境整備。とにかく人の出入り向上かなと思います。

今の事業をつづけて行くことで精一杯(精神的・体力的に)なので、アイデアとかは今今は浮かびません。みなさまのご協力、よろしく願います。

復興の会議の際にもっと民間の意見を汲み上げて頂きたい。

観光施設や商業施設を整備し外部からの人の流入の拡大をはかり、活力を高めてほしい。

- ・松島への玄関口としての塩竈にレトロ調のチンチン電車を走らせ、歴史的な奥行きイメージを強化する。
- ・神社下の宮町と本町を門前町としての散策、公園、休み場、土産などを集約する。
- ・市民の足として、買物に気軽に、魚、野菜等日常生活品をそろえるゾーン化
- ・沿線を拠点造りとして再開発を!親水公園、塩竈駅地区の再開発

商店、企業であってもその会社が成立しているのは地場消費なのか、市街消費なのか。規制緩和で力のあるものが有利な感があるか、本来の復興の為には大手だけでなく小さな街の商店(商店街)の役割を考える必要。例えば県知事の考え方は、経済的には生きるかもしれないが、これまでの漁業者としての成立ちまで生かされるのか疑問です。

何をするにあたって100年先を見つめて考えていきたい。それがまちづくりにつながると思う。先の質問で“困っている事”とありましたが、大勢の人が困っていると思います。その人達の意見を聞いてやる事が復興のアイデアにつながります。

小さな問題をひとつずつやれる事から始める事だと思います。私の場合だと川辺の水辺を大事にする事から始めています。今回をチャンスと思っておもしろい様に100年後を見て行動して下さい。私も行動したい。そうすると町が変わります。人の気持ちも明るくなります。いろんなアイデアも浮かんでいきます。

市役所のみなさん。頑張りましょう。そしてボランティア精神を忘れないで下さい。

b) 復興のためのアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての課を一つに集める。</li> <li>・議員、職員の人件費、人数の削減。</li> <li>・収入、支出のバランスを正常に。</li> <li>・無駄な施設はなくす支出を考えて下さい。無駄が多すぎる 復興へまわす。</li> </ul> <p>大丈夫しおがま！がんばれ、しおがま！</p>
<p>塩竈市庁舎を新しく防災その他の利用に市民が相談、利便に活用できる体制を整える必要があると思います。人口の減少、高齢化。今が機会だと思います。このままでは役所の機能がなされていません。是非検討していただきたいと思います。</p>
<p>復興（既存産業）と同時に新規雇用を拡大する目的（地域活性化）で海洋構造物を製造出来る産業を考えていきたい。その為にも工場用地等、行政サイドの協力をお願いしたい。</p>
<p>海辺の復旧なくして塩竈市の復興はない。一次産業への支援を積極的に。 港・岸壁・埠頭・魚市場・水産加工団地・かまぼこ業界・マリングート・観光船事業最優先で大きな支援金を持ち帰ること。</p>
<p>1 合併法を復活させて二市三町（四町）の合併を実現する方向に。狭い土地で限界があり発展性が少ない。 合併が現実になれば多くの日本、外国の企業誘致できる。 小さな工場でなく 1000 人～3000 人の就労ができる。工場や企業 3～4 ヶ所誘致 二市三町の利益になる 若者も集まり貧しくも心豊かな地域が創れる</p> <p>2 塩竈市独自で生きて行く場合 塩竈の得意な産業を育成発展させる 教育に力を入れる。全国にない教育モデルを作る（教育が良いと優良国民が市に集まる） 市が音頭を取り、市民や全国民に「水産加工積」を発行して強化していく。 平等も大変大切なことですが、不公平も尊重し大切にしてほしい。 なせば成るです。なさねば成らざるです。</p>
<p>既に行なわれているかもしれませんが、次世代を担う若者の意見を徴集してみてもどうでしょうか。「未来予想図」と題して中学生や高校生・大学生の思いに耳を傾けてみる。この地で暮らして行くのに何が必要でどれが現実的に実行性が有るのか、途方もない意見も出てくるかと思いますが、それが「生の声」として若者が考えている事だとすれば一口に無理難題として片付ける事は出来ませんし、それが新しい発想のキッカケに成るかもしれません。また市職員の 20 代、30 代、40 代と世代毎の意見交換会的な物も実施してみてもどうでしょうか。行政の仕事に携わってどう感じどうして行かなければならないのか、日常の業務で体現した事を知ることはこれからの復興の為の行政の仕事に活かす事が出来るのではないかと考えます。まずは市役所が元気の旗頭となって頂をたいし、そこで働く職員一人一人が元気の源の手本に成って頂きたい。その為に基本から今一度見直してみる事も肝要かもしれません。それは“挨拶”を徹底する事と同じと考えます。</p>
<p>三陸海岸他地区に比較し、被害が少ない為水産業、特に漁船誘致など早めに行い、水産の町として全国に名乗りを上げてもらいたい。石巻、気仙沼に代わって青魚の船が入る様冷凍設備、生鮮部など各社誘致して繁栄させて欲しい。</p>
<p>復旧ばかり考えているのではなく、塩釜の産業、歴史、文化、伝統などを守り、地域の発展の為に 10 年後のしっかりとした「まちづくり」を視野に入れ、長期計画委員会を結成し、今後のまちづくりを検討していくべきと考えます。</p>
<p>新浜町にある加工団地の整備を行い、かまぼこ特区をつくる。またその中に大学の研究機関をもってきて新しい技術開発を行い産業を活性化させる。</p>

b) 復興のためのアイデア

自衛隊、救援車両が通る道路がせまくて渋滞が一日中続いていたこと、通常も渋滞はかなりひどいと思いますが、ご存知でしょうか？

利府から東北本線塩釜駅ガード下に続く道路が（利府、白菊町、玉川1丁目）せますぎて動きがとれませんでした。緊急車両が通りたくても動けなくなってしまいます。この道路は下馬、多賀城に抜ける一本道路です。大至急で拡張すべきです。

今回の震災において塩釜からの情報が耳に届きませんでした。全く情報が入っていないと何人もの方から聞いています。議員の方々の動きも一般人には見えませんでした。

近所どうしが助け合うのは当然ですが、選挙間近にして思うこと。選挙にたたれる方は本気で塩釜を守るため、全力で頑張っていただけの方なのか、一人一人の意見を聞かせて頂きたいです。

加工団地内に観光事業的な計画を行なう

団地内で製造している商品を団地内に販売センターを作り観光客に直売する。

団地内の各工場に見学コースを作ってもらう

市場に隣接しているので市場を含め開発してほしい。

加工団地に新しい風を入れてほしい。

津波の被害の無かった団地を復興の為に足がかりにしてほしい。

塩釜の地産地消のPRに力を入れる。

震災前から港町1丁目地区は高潮の被害がありましたが、東日本大震災により地盤沈下が進み更に被害が拡大し歩行はもとより自転車での通行もままならない状況が続いています。このような状態では観光客の集客、地元産業の発展は望めないと思います。

観光客が増え、地元産業が発展すれば雇用が促進され市の財政も必ず潤ってくると思うので、まずは沿岸地域の安心・安全な“まちづくり”に力をそそいでいただきたいです。

塩釜市には昔から杜があり、港があり、工業があり他の市町村にはない魅力が沢山あるので、今回の震災でこの大切な歴史を消滅させてしまうのはもったいないです。

もっと地域の声をくみとって市民みんなが望む夢のある「みなとまち」創りをお願いします。

塩釜港及び塩釜魚市場の安全性について。港内において流失沈没した船舶が他に比べて少なかったこと及び魚市場付近に被害が少なかったことの原因のひとつに代ヶ崎、馬放島、桂島等が波よけになった様ですので、学術的に解明して、津波に強い塩釜港の売り出しを行なう。

1. 外洋で津波6～10mです。塩釜市海岸1.5～3mは不幸中の幸いです。浦戸諸島、七ヶ浜町が防潮堤となっておる自然良港

2. 新浜町は低地域ですが浸水の被害大変少ない

3. 大変安全度高いのになぜ日中の労働人口が低いのだろう

4. 被害地より塩釜に移転を希望した企業があるが成立しない。要因は新浜町が軟弱な土地が大きな原因と思う

5. 今回震災に対し中央より復興資金および導入を計り30年いや100年の将来を見通し不沈下の土地を作り他所より水産加工製造所のみでなく業種を問わず製造業者を誘致すべきと思う。

・市の産業の付加価値向上には観光地としての視点がもっとも大切です。

・創造をともなう街づくりが重要です。

・北浜地区は3～5m地盤を上げて公園にする。

・岩盤で拡 矢板 を打ちましよう

・水辺の立体的な海からの景観

・日々港へ近郊からも国内外からも遊びにくる人々でにぎやかになるすてきな水辺の町にしましよう。

・市内、港エリア、満潮時浸水は絶対不可です。

・浦戸の については創造し、固定概念をすてて取り組みましよう

b) 復興のためのアイデア
<p>今回のような津波がきても建物が流失することのないような堤防、防潮堤の二重、三重の防御策。沿岸部の土地の嵩上げ、土地の買い上げ。海岸線から何mかでの非居住区化、工場地区などを設け、非居住区と居住区に分ける。</p> <p>住居が流失したり、修理が出来ない程損壊した人の為の安くて購入できる復興住宅の建設</p>
<p>小規模、零細企業の創出、設立の支援。</p> <p>若手、個人企業の商業参入の容易なシステムを特に観光業を主眼として。</p> <p>大規模な無料駐車場を有する“道の駅”を塩竈に。</p>
<p>津波の被害は他港にくらべ比較的少なかった。とはいえ、トータルな津波現象の検証と公開が将来に向けて、又現在の心理的不安を和らげると思う。</p>
<p>市の産業の中心である水産業及び塩釜神社を中心とした観光業の復興に最重点を置く施策が必要。とりわけ県内で唯一大きな被災を免れた漁港、魚市場、その背後地の活用により県内での競争力を失いつつあった水産業の復活を目指した予算の重点配分が肝要。</p>
<p>将来、塩釜全体の水産ボリュームが増える様に被災地域から企業誘致する</p>
<p>全市民で震災に負けぬ気力で港町塩釜を創る事。</p>
<p>市役所の機能が集中されていない(部署ごとの事務所が分散)防災拠点になる公園、緑地の整備と併せ、市庁舎の新築、集約を進めるべきと思います。</p> <p>また、国の出先機関も分散しており、行政機能全体が他の市町村に比し不便である。</p> <p>については市庁舎の統合を含め合同庁舎を検討されてはいかがでしょうか？</p>

## 7. 資料

### アンケート調査票

## 塩竈市震災復興計画策定に関する企業・事業所意向調査のお願い

### ごあいさつ

このたびの東日本大震災により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。さて、本市では、震災復興本部の設置、震災復興推進室の設置、震災復興計画検討委員会の開催等、「復興」に向けた取り組みと「復興計画」の検討を進めております。

この意向調査は、企業・事業所の皆様のご意向やご意見を十分にふまえた復興計画を策定し、企業・市民と市の協働による復興まちづくりを推進するため実施するものです。被災された皆様にはまだまだ不便、不安な事業活動を送られているかとは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 23 年 7 月 塩竈市長 佐藤 昭

### 調査票の記入にあたって

この調査は、企業・事業所を対象として実施させていただきます。

調査票のご記入にあたっては、企業・事業所の代表の方(もしくは代理の方)がご記入ください。

質問ごとに、該当する選択肢の番号に  をつけて下さい。( )内は具体的にご記入ください。

調査票にご記入いただきましたら、平成 23 年 7 月 26 日までに、同封の封筒に入れ、切手を貼らずにそのまま返送をお願いいたします。

ご回答頂きました内容は、個人情報、企業情報として厳重な管理を行うとともに、本調査の目的以外には一切使用しないことをお約束いたします。

この調査に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

塩竈市震災復興推進室 電話 0 2 2 3 6 4 1 1 1 1 内線 2 8 0

貴社の企業・事業所名、代表者名と震災前のご住所をご記入ください。

企業・事業所名 ( )

代表者名 ( )

震災前のご住所 ( 塩竈市 )

貴社の企業・事業所についてお伺いします。

【問1】貴社の業種を教えてください。( 印はいくつでも )

- |          |            |         |       |
|----------|------------|---------|-------|
| 1 農林業    | 2 水産業      | 3 水産加工業 | 4 製造業 |
| 5 卸売・小売業 | 6 運輸業      | 7 建設業   | 8 飲食業 |
| 9 サービス業  | 10 その他 ( ) |         |       |

【問2】貴社の創業年数を教えてください。( 印は1つだけ )

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1 10年未満    | 2 10年～30年未満 | 3 30年～50年未満 |
| 4 50年～100年 | 5 100年以上    |             |

【問3】貴社の資本金を教えてください。( 印は1つだけ )

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 300万円以下      | 2 300万円超～1千万円以下 |
| 3 1千万円超～5千万円以下 | 4 5千万円超～1億円以下   |
| 5 1億円超         |                 |

【問4】被災前年度(H21年度)の年間売上高を教えてください。( 印は1つだけ )

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 300万円以下      | 2 300万円超～1千万円以下 |
| 3 1千万円超～5千万円以下 | 4 5千万円超～1億円以下   |
| 5 1億円超～3億円以下   | 6 3億円超～5億円以下    |
| 7 5億円超～10億円以下  | 8 10億円以上        |

【問5】震災前に比べ震災後の売上高の見通しはいかがですか。( 印は1つだけ )

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 前年比50%以上減少の見込み    | 2 50%未満～20%以上減少の見込み |
| 3 20%未満～10%以上減少の見込み | 4 10%未満の減少の見込み      |
| 5 何とか前年程度を維持できそう    |                     |
| 6 5%未満増加の見込み        | 7 5%以上～10%未満増加の見込み  |
| 8 10%以上増加の見込み       |                     |
| 9 わからない             |                     |

【問6】震災前の従業員数は経営者、パート・アルバイトを含めて何人ですか。  
( 印は1つだけ )

- |   |        |   |        |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 4人以下   | 2 | 5~9人   | 3 | 10~19人 | 4 | 20~49人 |
| 5 | 50~99人 | 6 | 100人以上 |   |        |   |        |

【問7】震災の前後で従業員数に変化がありましたか。( 印は1つだけ )

- |   |                |   |            |
|---|----------------|---|------------|
| 1 | 従業員数は震災前と変わらない | 2 | 震災後1人~4人減少 |
| 3 | 震災後5人~9人減少     | 4 | 震災後10人以上減少 |
| 5 | 震災後1人~4人増加     | 6 | 震災後5人~9人増加 |
| 7 | 震災後10人以上増加     |   |            |
| 8 | その他( )         |   |            |

【問8】貴社の取引関係についてお尋ねします。( 印は1つだけ )  
( )内はご記入ください。

- |   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
| 1 | 塩竈市内だけ                |   |
| 2 | 塩竈市を含む宮城県内(主な都市は      | ) |
| 3 | 塩竈市を除く宮城県内(主な都市は      | ) |
| 4 | 宮城県を含む他県との取引先がある(主な県は | ) |
| 5 | 宮城県を除く他県との取引先がある(主な県は | ) |
| 6 | その他(具体的に              | ) |

【問9】震災後、取引関係の見通しはどのようになるとお考えですか。

下記の項目ごとに1つだけ 印をつけてください。

塩竈市内企業との取引は

- |   |       |   |           |   |        |
|---|-------|---|-----------|---|--------|
| 1 | 減少しそう | 2 | 増加しそう     | 3 | 変わりはない |
| 4 | わからない | 5 | 以前から取引がない |   |        |

塩竈市を除く宮城県内の企業との取引は

- |   |       |   |           |   |        |
|---|-------|---|-----------|---|--------|
| 1 | 減少しそう | 2 | 増加しそう     | 3 | 変わりはない |
| 4 | わからない | 5 | 以前から取引がない |   |        |

宮城県外の企業との取引は

- |   |       |   |           |   |        |
|---|-------|---|-----------|---|--------|
| 1 | 減少しそう | 2 | 増加しそう     | 3 | 変わりはない |
| 4 | わからない | 5 | 以前から取引がない |   |        |

貴社の防災への取り組み、震災時の対応についてお尋ねします。

【問 10】直近の1年間に津波、地震を想定した防災訓練を実施しましたか。

- 1 津波を想定した防災訓練を実施した
- 2 地震を想定した防災訓練を実施した
- 3 津波、地震の両方を想定した防災訓練を実施した
- 4 津波、地震を想定した防災訓練は実施していない

【問 11】問 10で「1 津波を想定した防災訓練を実施した」、「2 地震を想定した防災訓練を実施した」、「3 津波、地震の両方を想定した防災訓練を実施した」と回答された事業所にお尋ねします。

今回の震災時の対応において、防災訓練は役に立ちましたか。

- 1 役に立った
- 2 役に立たなかった

【問 12】問 9-2でそのように回答された理由をお聞かせください。

具体的にご記入下さい

【問 13】貴社における今回の震災時の対応について、うまく行った点、あるいは今後の課題となった点がありましたら、具体的にお聞かせください。

具体的にご記入下さい

a)うまく行った点

b)今後の課題となった点

貴社の被害の状況についてお尋ねします。

【問 14】どのような被害状況でしたか。（ 印は1つだけ）

1 人的被害と物的被害（建物・設備・商品・製品等）を被った
2 人的被害だけを被った      3 物的被害だけを被った
4 目立った被害はなかった
5 その他（具体的に _____ )

【問 15】おおよその物的被害の状況を、わかる範囲で下記に記載してください。

項目	被害内容（本支店・倉庫等や製品・商品等の区分）	被害のおおよその面積・数量・個数等	おおよその被害金額
建物			
設備 車両			
製品 商品等			
被害金額の合計			

【問 16】震災によって事業活動にどのような影響が出ていますか。

主なもの3つ以内に 印をつけてください。

- 1 人材の不足
- 2 人材の余剰
- 3 物流・配送システムが復歸していないため通常の事業活動が困難
- 4 取引先が被災し、仕入・受注に影響
- 5 販路の縮小により販売・売上が不振
- 6 風評被害により販売・売上が不振
- 7 燃料・原料の高騰により売上に影響
- 8 資金繰りの困難
- 9 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 10 特に影響はない
- 11 わからない

貴社の今後の経営についてお尋ねします。

【問 17】事業再開の見通しはいかがですか。（ 印は1つだけ）

- 1 既に再開している
- 2 間もなく再開する予定
- 3 あと半年程度かかる見通し
- 4 あと1年程度かかる見通し
- 5 再開の見通しが立たない
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 7 わからない

【問 18】今後の基本的な経営方針についてお尋ねします。（ 印は1つだけ）

- 1 現状維持で継続
- 2 経営を拡大
- 3 経営を縮小
- 4 経営を断念
- 5 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 6 わからない

【問 19】問 18 で「1 現状維持で継続」、「2 経営を拡大」、「3 経営を縮小」と回答された事業所にお尋ねします。

事業所の立地についてはいかがお考えですか。( 印は1つだけ)

- 1 現在地で経営を継続
- 2 市内の他地区へ移転するつもり
- 3 宮城県内の他市へ移転するつもり
- 4 宮城県外へ移転するつもり
- 5 その他(具体的に )
- 6 わからない

【問 20】問 19 でお答え頂いた事業所の立地について、理由をお聞かせください。

具体的にご記入下さい

【問 21】貴社の事業再開と将来の発展のために、特に必要としておられる支援策はございますか。

具体的にご記入下さい

今後の塩竈市の復興に向けた取り組みについてお尋ねします。

【問 22】今後、塩竈市を災害に強いまちとするため、どのような防災対策が重要だとお考えですか。特にあてはまるもの3つに 印をつけてください。

- 1 浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化
- 2 非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備
- 3 津波から避難できる高さがある高層の建物の整備
- 4 防災拠点になる公園・緑地の整備
- 5 震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化
- 6 建物の耐震化
- 7 避難訓練や防災教育の充実
- 8 震災の伝承やモニュメントの設置など記録となるものの整備
- 9 その他（具体的に )

最後に、震災復興に関するご意見・ご要望がありましたら自由にご記入下さい。

a)復興の障害になっていることや、いま現在困っていることがあればご記入ください。

b) 塩竈市の復興のためのアイデアをお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。